コンクリート打込（　計画　・　結果　）表

上段（計画） 下段（結果）	計画調合 番　号	打込箇所 （部位別）	打 込 時　期	コンクリート の種類	セメントの 種類（記号）	設計基準 強度(N/㎟)	呼び強度	混和材料 （商品名）	スランプ （cm）	単位水量 （kg/㎥）	打込容積 （㎥）	試 験 回数（回）	空気量 （%）	温 度 （℃）	5）塩化物量測定 結果（kg/㎥）	使用塩化物量 測定器	6）圧縮強度（N/㎟） ７日	 ２８日	 (A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
計　画	NO.																		
結　果	NO.																		(A・B・D)
コンクリート容積計	普通（　　㎥）・軽量（　　㎥）		合計（　　㎥　）																

【コンクリート製造会社・工場名】

9）【　コンクリートの劣化対策　】

計画調合NO.	○塩化物量の予測 （　）０．３０kg／㎥以下、（　）０．３０kg／㎥を超え０．６０kg／㎥以下、（　）０．６０kg／㎥を超える
計画調合NO.	○塩害の要因（　有　・　無　） （　　）海砂、（　　）混和剤、（　　）練り混ぜ水、（　　）その他（　　）
計画調合NO.	○塩害対策（　有　・　無　） （　　）調合（w／c　　%、スランプ　　cm）、（　　）防せい剤（　　）
計画調合NO.	（　　）床下端の鉄筋かぶり厚さ　（　　cm）、（　　）その他　（　　）
計画調合NO.	○アルカリ骨材反応対策（　有　・　無　） （　　）無害骨材の使用、（　　）低アルカリ形セメントの使用（　　） （　　）アルカリ総量（　　kg／㎥以下）、（　　）混合セメントの使用

9）【　考　察　】

○圧縮強度試験結果について	○塩化物量測定結果について
○アルカリ骨材反応対策について	○その他（骨材の品質、不具合の処置等）

1）コンクリート工事施工計画報告書はコンクリート工事着手前までに、コンクリート工事施工結果報告書は中間検査申請時又は、完了検査申請時に必ず提出すること。

2）記載内容に変更が生じた場合は、コンクリート工事施工結果報告書により報告すること。

3）コンクリート工事施工計画報告書の提出時に、計画調合番号を明記したコンクリート配合報告書を添付すること。

4）工事開始前並びに工事期間中（１回／月）、「登録試験所」で行った骨材試験報告書（絶乾密度及び吸水率の測定、粒度の測定）を各提出時に添付すること。

5）工事期間中に行った塩化物量測定は、（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物測定器具により測定し、この欄には最大値を記入すること。

6）工事期間中に「登録試験所」で行った圧縮強度試験（S56建告第１１０２号）の試験結果報告書の原本を各検査申請時に添付し、この欄には最小値を記入すること。

7）各種試験は「登録試験所」で実施すること。

8）コンクリート工事施工計画報告時は計画欄（上段）に、コンクリート工事施工結果報告時は結果欄（下段）に記入すること。

9）コンクリートの劣化対策はコンクリート工事施工計画報告時に、考察はコンクリート工事施工結果報告時にそれぞれ記入すること。

10）計画欄、結果欄　　内は、未記入とする。